

平成28年度防災訓練を実施

核融合科学研究所は、9月30日に、土岐市南消防署の協力を得て防災訓練を実施し、職員や学生など所員291名が参加しました。

訓練は、9時30分に震度6弱の大地震が発生し、研究所構内の食堂厨房で職員が負傷する事態と火災が発生したという想定の下、危機管理指揮本部の室内に災害警戒本部を立ち上げ、初期消火活動等に対応する自衛消防隊を「本部隊」と「地区隊」の2部隊に分けた組織体制で実施しました。

自衛消防隊員は、関係機関への通報、ライフライン状況確認、実験設備の安全確認の活動を迅速に行いました。10時30分には警戒態勢の解除とともに防災訓練が終了し、引き続き所員による屋内消火栓と消火器の取扱い訓練が行われました。土岐市南消防署からは、「自衛消防隊員と消防職員との連携を図れるようにしてほしい。」との講評があり、竹入康彦所長は、所員に対し「予想外の事態にも対応できるように日頃から意識してほしい。」と話しました。



危機管理指揮本部



消火器訓練

総研大 アジア冬の学校のご案内

2016年12月12日（月）から14日（水）までの日程で、総合研究大学院大学（総研大）アジア冬の学校をチェンマイ大学（タイ）にて開催します。この総研大アジア冬の学校は、5専攻（機能分子科学専攻、構造分子科学専攻、天文科学専攻、宇宙科学専攻、核融合科学専攻）で行っている研究・教育活動を、日本国内含むアジア諸国の大学生、大学院生及び若手研究者の育成に広く供するべく、平成16年度より毎年開催してきました。

本年度の核融合科学専攻では、プラズマ物理の基礎から核融合を目指したプラズマ実験、核融合プラズマやプラズマの複雑現象のシミュレーションまで、幅広い授業を行うことを予定しています。

詳細については、下記webサイトをご覧ください。

<http://nsrp.nifs.ac.jp/aws2016/index.html>

米国・ウィスコンシン大学マディソン校工学部と国際学術交流に関する覚書を締結

核融合科学研究所は、米国のウィスコンシン大学マディソン校工学部と、核融合研究における研究協力関係を推進するため、平成28年9月に国際学術交流に関する覚書を締結しました。

ウィスコンシン大学マディソン校工学部は、これまでも長年にわたって核融合研究を推進しており、現在、ヘリカル方式の中規模実験装置HSX、核融合プラズマの理論・シミュレーション研究などで世界的にも顕著な成果を挙げています。優秀な大学院生の活発な研究活動も広く知られるところです。

覚書締結を記念して、マディソンにて、覚書締結記念ワークショップを開催しました。竹入康彦核融合科学研究所長の挨拶（代読）に続き、覚書の交換、両機関間の共同研究のこれまでの経緯、今後の可能性などについて議論を行いました。来年早々には、先方の大学院生が核融合科学研究所に2か月間来訪し、LHD実験データを用いた研究を行うなど、具体的な交流計画も策定されました。

核融合科学研究所が国際学術交流協定を締結した海外研究機関は、これで24機関となりました。ますます幅広い国際共同研究が展開されることが期待されます。



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS

No.232

2016年10,11月号

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6

TEL : 0572-58-2222(代) FAX : 0572-58-2601

URL : <http://www.nifs.ac.jp/>

E-mail : nifs-news@nifs.ac.jp

※過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

複写される
方へ

本紙に掲載された著作物を複写したい方は(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F

TEL:03-3475-5618 FAX:03-3475-5619 E-mail:info@jaacc.jp 著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究へご連絡ください。